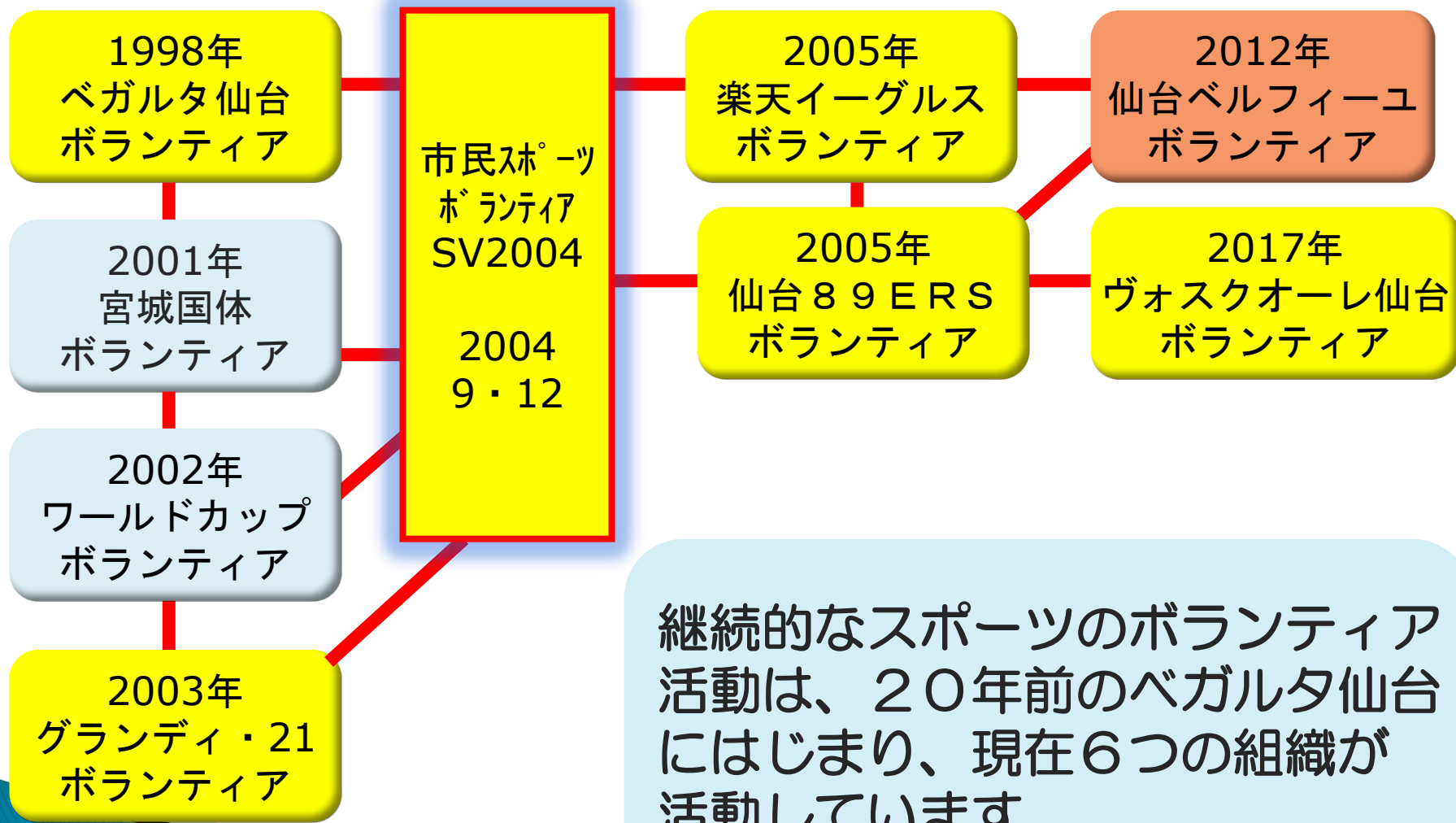


スポーツを通じて 「する・みる・ささえあう」まちへ



2018年11月12日
市民スポーツボランティア SV2004
代表理事 泉田 和雄

せんだい・みやぎのスポーツボランティア



継続的なスポーツのボランティア活動は、20年前のベガルタ仙台にはじまり、現在6つの組織が活動しています。

せんだい・みやぎのスポーツボランティア

私たち市民スポーツボランティアSV2004の活動

スポーツイベント運営の支援

募集・運営説明会・マニュアル作成・報告書まとめまで主催者をサポート

レベルアップのための企画・研修

救命や防災・エコ活動・入門からリーダーの研修、スポーツの勉強会など

快適な観戦と未来のためのエコ活動

仙台方式といわれる共通のごみの分別

全国の仲間との交流を楽しむ

経験を共有し、ともに地域のスポーツを応援する

ボランティアの情報発信と記録

SVだより・活動報告・ボランティアハンドブック

チーム名	種目	登録数	延べ活動数	平均活動数
ベガルタ仙台	サッカーJ1	175	1,695	77.0
楽天イーグルス	野球	238	3,287	50.0
仙台89ERS	バスケット	157	1,262	42.6
ヴォスクオーレ仙台	フットサル	72	236	18.1
プロスポーツ計		642	6,480	
単独イベント		605	834	
グランディ21		118	436	8
合計		1,365	7,750	

2017年活動実績 (SV2004調べ)

何故、仙台ではスポーツボランティア活動が盛んなのか？

1998年、ベガルタ仙台ボランティア活動開始
それは、チームを無くさないという思いから始まった



横浜フリューゲルス

メインスポンサーの撤退により、マリノスとの合併発表後一度も負けることなく、天皇杯で優勝したにもかかわらずチームが消滅するという現実



★ 外から**市民**が支える組織として1999年、「ベガルタ仙台市民後援会」も発足

何故、仙台ではスポーツボランティア活動が盛んなのか？

2001年 宮城国体 3万人

2002年 日韓ワールドカップ 3千人



ボランティア経験者が増加した

ポイントとなった第3のボランティア活動 (W-Cup)

1. 大会ボランティア
2. 開催地ボランティア (都市ボランティア)

そして、

「キックラブ」という、組織委員会公認の**市民ボランティア組織**

(目的は開催周知と機運醸成)

自ら考え、企画し運営する経験が蓄積



キックラブ

何故、仙台ではスポーツボランティア活動が盛んなのか？

生まれたふたつのボランティア組織

2003年

グランディ・21ボランティア

ワールドカップ宮城大会の会場となった宮城スタジアムを拠点とする施設型のボランティア組織であり、現在も案内・大型映像装置などを担当（宮城県と連携）

2004年

市民スポーツボランティア
SV2004

仙台市を拠点とする**市民有志による**、幅広いスポーツサポートを目的とした組織（仙台市やスポーツ団体と連携）



何故、仙台ではスポーツボランティア活動が盛んなのか？

2005年～ 新しい活動とともに



プロ野球ではじめてのボランティア制度
⇒ 現在は「広島・日ハム・千葉ロッテ」へと拡大



bjリーグ誕生に合わせボランティア誕生
⇒ ゲーム運営とチーム支援に限定した活動



それぞれに「官民一体型」の支援組織が発足

楽天イーグルス・マイチーム協議会／仙台89ERSホームタウン協議会



何故、仙台ではスポーツボランティア活動が盛んなのか？

東日本大震災

2011年 ～ スポーツで笑顔を未来へ

3つの活動目標 キーワードは「子ども・笑顔・身の丈の支援」

1. 未来をになう子供たちに、スポーツの楽しさを伝える活動をします。
2. スポーツを通じて震災復興のための支援活動を行います。
3. 地域に根ざすスポーツ組織を支援する活動をします。

2011年5月 緊急 東北スポーツボランティアサミット宣言



何故、仙台ではスポーツボランティア活動が盛んなのか？



杜の都
ハーフ

仙台国際ハーフマラソン大会
THE 24th SENDAI INTERNATIONAL HALF MARATHON

2012年 市民ランナーに開放された 「仙台国際ハーフ」マラソン



市民ボランティアの募集

アンケートでの継続確認

既存ボランティア組織とのマッチング

ボランティア人口の拡大



何故、仙台ではスポーツボランティア活動が盛んなのか？

SPORTS COMMISSION SENDAI

スポーツコミッションせんだい

SINCE 2014

スポーツによる経済活性化

市民のスポーツ振興

観光・メディア・施設・企業・大学学校・周辺市町・
市民団体・行政などが連携しスポーツ振興に取り組む

イベント誘致のほか、人の育成・市民交流・ボランティア育成など推進

ボランティア関連 > 中高生スポーツボランティア育成・ボランティアマッチングなど

これから、ここから

ラグビーワールドカップ 2019

開催期間 9月20日(金)～11月2日(土)
国内12地域で開催、東北では釜石市
が会場となり、大会ボランティア、
都市ボランティアが活動する予定



隣県の釜石も会場となります

東京オリンピック・パラリンピック2020

開催期間 オリンピック

7月24日(金)～8月9日(日)

パラリンピック

8月25日(火)～9月6日(日)

東京を中心に宮城ではサッカー競技開催
大会ボランティアは約8万人が募集中
他に都市ボランティア、国内各地ではキャン
プによる交流事業が予測される

仙台みやぎ2020 =
自分たちで大会を楽しむ企画を
考え活動する組織

楽しさは○○るもの

これから、ここから

スポーツコミッション
せんだい

長期安定型の組織として
登録、情報提供からスタート

仙台スポーツボランティア・ステーション

カメラが得意な人、文章を書くことが好きな人、花に詳しい人、大工
仕事が趣味の人、手話ができる人、保育士の資格がある人……
ボランティアの数だけ、それぞれの経験や才能・資格などを
活かしたら……

可能性は○○○大

これから、ここから
スポーツを通じて
「する・みる・ささえあう」まちへ

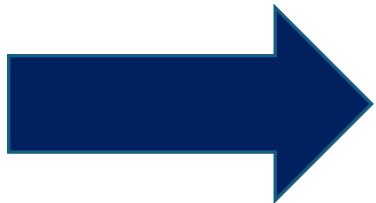
ささえる

一方通行の関係

ささえあう

お互いを認める連携・連帯

ささえあうことは、ボランティアを人として認め育て
「感謝しあえる形」



スポーツで笑顔を未来へ